

## 事業者温室効果ガス削減報告書概要（第二計画期間） 第2年度分

## 1 事業所の概要

事業者の名称	河北新報印刷株式会社		
事業所の名称	河北新報印刷センター		
事業所の所在地	仙台市泉区明通3丁目13番地		
主たる事業	印刷・同関連業		
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	省エネ活動取組みは電力抑制活動が主となっており、様々な観点から抑制策を見出す努力活動を行っている。結果として温室効果ガス抑制に繋げている。		

## 2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの排出状況及び削減目標・非化石エネルギーの使用割合目標	基準年度	2022年度	基準排出量	3,094 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	2.522
	目標年度	2025年度	目標排出量	3,000 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	2.4
			削減率	3.03 %	削減率	4.83 %
		非化石エネルギーの使用目標割合	非化石電気	1.00 %	その他非化石エネルギー等	1.00 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2023年度	排出量	3,071 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	2.197
			削減率	0.74 %	削減率	12.88 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由		省エネタイプへの輪転機更新により、輪転機関連受電設備の電力消費が抑えられた。稼働セット増加、稼働時間増加にも繋がったが、輪転機の省エネ効果が十分に発揮され今回の結果となったと推測される。			
	第2年度	2024年度	排出量	2,592 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	1.942
			削減率	16.22 %	削減率	22.99 %
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	0.00 %	その他非化石エネルギー等	0.00 %
	排出量等の増減理由		省エネ型新聞用輪転機への更新が完了。輪転機稼働時間に燃程変化はないが、昨年度を上回る結果となった。今後は無駄を省く取り組みを実施し、更なる省エネ効果を期待したい。			
	第3年度	2025年度	排出量	t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
		非化石エネルギーの使用割合	非化石電気	%	その他非化石エネルギー等	%
	排出量等の増減理由					

### 3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	100 %	目標年度	100 %
	第1年度	100 %	実施状況の説明等	新聞印刷用輪転機以外の大きな機器更新等はなく、例年通りの取り組みを実施。
	第2年度	100 %	実施状況の説明等	昨年度に続き、取り組み活動に変化なし。
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選択対策の実施状況	項目	実施状況
	エネルギー使用量の見える化（前年度比較）	実施済
	外部機関による省エネ診断	実施済
	生産性管理	実施済
	エネルギー使用量の見える化（分計による課題発見）	実施済
	ポンプ、給水系統の保安全管理	実施済
	ファン、ブロワ、給気系統の保安全管理	実施済
	デマンド管理	実施済
	窓の断熱性向上	実施済
	外気冷房	実施済

その他の対策の 実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	雨水を蓄積しトイレ、洗車（トラック）、散水への再利用で資源有効を有効活用する	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	古紙からインキを抜いた脱墨パルプを配合した用紙の使用と、印刷時に発生する損紙（商品にならない新聞）の回収を徹底し、損紙委員会を設置「データ収集・分析」「問題点の整理」などを行いながら経費節減に努める。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	産業廃棄物の削減では、「分ければ資源、混ぜればゴミ」を合言葉にゴミ分別表を提示し徹底を図る。	実施済
	グリーン調達の実施	グリーンマーク製品の購入を推進	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	エネルギーの使用量を計測・記録しているほかに、省エネ委員会にて電力量削減のために対策案を企画検討し、エネルギーの節約に努めている。	実施済